

令和3年度 事業報告書

令和3年4月介護報酬の改定は、新型コロナウイルス感染症(略 新型コロナ)や大規模災害等により「感染症や災害への対応力強化」と、団塊の世代全てが75歳以上となる2025年から2040年も見据えて「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援、重度化防止の取組の推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」を示しました。

私たちは法人理念「笑顔の創造 心と心意気」のもと「地域福祉の拠点」となり①その有する資源やノウハウを最大限に活用し ②施設・在宅サービスを提供する ③地域の要介護者等を支援する ④地域福祉の増進に寄与する ⑤地域包括支援センターと密接に連携し、最良の介護サービスを継続して提供できる体制整備に取り組みました。

1 中期経営計画書(令和2年度～令和5年度の重点事項)

1. 社会福祉法人として、地域に福祉ニーズがあれば積極的に公益的取り組みを検討し実践。
2. ご利用者の尊厳を守る生活支援の質の向上。
3. 介護職員等の採用活動を強化。
4. 働きがいがあり魅力ある職場づくり。
5. 災害や感染症等に対して事業継続(BCP)を可能にする体制整備。

2 適正に事業を運営

令和4年3月31日時点

1. 介護老人福祉施設+ショートステイ 合計稼働率90.2%(目標98% 前年比△3%)
2. 介護老人福祉施設(略 特養) ・稼働率91.6%(前年比△3.5% 目標96%) ・平均介護度 3.99(前年比+0.02)
 - ・新入居者 32名(男性5名 女性27名) 入居前:自宅0名 医療機関15名 その他17名
 - ・退居者 31名(男性8名 女性23名) 死亡26名(看取り17名 医療機関9名) 自主退居5名
 - ・介護度別 介護2 2名(△1名) 介護3 22名(0名) 介護4 28名(+2名) 介護5 26名(0名)
 - ・出身地 福井市73名 鯖江市3名 越前市1名 池田町1名
3. ショートステイ ・稼働率 84.4%(前年比△0.9% 目標100%) ・平均介護度2.21(△0.1)
4. デイサービス ・稼働率 47.7%(前年比△7.7% 目標80%) ・平均介護度2.28(△0.03)
 - ・登録者数 37名(△7名) 内訳: 要介護者29名(△5名) 要支援者8名(△2名)
 - ・地区別数 文殊23名(△2名) 上文殊3名(△3名) 麻生津10名(0名) 他地区1名(△2名)
5. 居宅介護支援事業所(略 居宅) ・登録者64名(△4名):内訳 要介護者55名(0名) 要支援者9名(△4名)

3 管理部門

1. 社会福祉法人として地域に福祉ニーズがあれば積極的に公益的取り組みを検討し実践。

- 1) 介護福祉士養成奨学金制度 支給対象1名
- 2) 福井市社協への協力 (1)ショッピングセンターサロン事業に協力(利用者の作品提供等) (2)賛助金の提供
(3)社協だより「まごころ」に広告掲載6月 (4)ボランティア情報誌に記事掲載9月 (5)共同募金に協力
- 3) 福井県社協への協力 (1)共同募金に協力 (2)ミニ就職説明会の参加
- 4) 福井放送 (1)“24時間テレビ 愛は地球を救う”のスポット協賛(8月)

2. 介護職員等の採用活動を強化し、幅広い分野から優秀な人材の獲得。

- 1) 少子化による学生の減少と新型コロナの影響により、採用活動は感染対策と効果的な方法を検討し取り組んだ。
 - (1)採用6名 ①新規学卒採用 2名 ・介護職員1名(専門学校) ・栄養士1名(短期大学)
②中途採用 4名 ・介護職員4名(介護労働安定センター1名、県福祉人材センター2名、職員紹介1名)
 - (2)タイからの介護技能実習生の受入準備:福井県社協(監理団体)、県介護福祉士会(介護技術指導)と連携した。
- 2) 職員募集の広報方法。(1)説明用パワーポイント・リクルート冊子を見直した。(3)ホームページ“Instagram”を充実した。
- 3) 新規学卒、中途採用対象の就職説明会等に参加し、特に中途採用募集を強化した。就職説明会に8回参加。
 - (1)福井県:ミニ企業説明会9月(アオッサ)、ふるさと企業キャリアフェア3月(サンドーム福井)
 - (2)福井県社協:福祉就職フェア6月・3月、介護就職フェア3月 (3)高校生:求人票を県内高校18校に持参7月。
 - (4)介護労働安定センター:・就職支援ガイダンス10月・1月・3月、介護労働センターのホームページ掲載(就職者)6月
 - (5)職場見学会 参加者6名(短期大学1名、専門学校1名、高校生1名(保護者同伴)、社会人3名)
- 4) シルバー人材の受け入れ体制を整備。60歳以上の職員10名(介護職員7名 看護職員3名)

3. 働きがいがあり、魅力ある職場づくり。「ES(職員満足度)向上によるCS(顧客満足度)向上」

- 1) 介護サービスの質の向上に取り組む職員を育成及び職員の処遇向上に取り組んだ。
 - (1)職員表彰 ・10年勤続職員6名 ・優秀職員の紹介1名
 - (2)産休・育休の取得 ・取得者計6名
 - (3)特別有給休暇制度(継続) ・職場や家庭での新型コロナ濃厚接触者等を対象(新型コロナ感染対策)
 - (4)処遇改善手当の支給 ・特定処遇改善手当(継続) ・処遇改善補助金(令和4年2月より開始)
 - (5)親睦会等の支援 ・6月弁当を全職員に提供(焼肉、うなぎ等)
- 2) 職員の健康維持・増進のために、負担の少ない介護技術の研究を実践する。
 - (1)介護ロボットの導入 ・リフト付浴室改修1ヶ所(りんごユニット)

- (2)腰痛防止の対策 ・定期的な腰痛チェック ・ラジオ体操の徹底
- (3)産業医と連携 ・相談日(毎月)を設けメンタル不調等の対応に取り組んだ。・館内の巡回指導を行った。
- (4)ハラスメント対策強化 ・ハラスメント撲滅宣言を周知 ・重要事項説明書に追加(入居者、家族からの行為)

4. 感染症や非常災害に対して事業継続(BCP)を可能にする体制を整備し、ご利用者の安全確保等に取り組んだ。

1) 新型コロナの感染予防・感染対策を徹底。

- (1)衛生資材の在庫約3ヶ月分程度を保有した。アルコール消毒液、不織布マスク、ガウン、使い捨て手袋等
- (2)家族の面会：県の感染対策等を参考に対応した。①ガラス越し(週4日、3組、15分)②オンライン面会
- (3)職員に対する感染対策。
 - ①感染対策室(継続)：感染対策の対応、職員への周知等(勤務前の体温測定・健康観察、県外往来時等)
 - ②レッドゾーンチームの結成：感染者が発生したユニットで介護業務、まん延防止対策等を行う職員を教育した。
 - ③研修の実施：・防具服の脱着訓練(全職員) ・発生時を想定し“まん延防止”訓練(館内のゾーニング)等
- (4)嘱託医及び産業医と連携して感染対策及びまん延防止等に取り組んだ。
 - ①感染者発生(まん延防止対策等)：令和4年2月ゆず・りんごユニット、ひまわり・すいせんユニット
・ユニットのゾーン分け体制・入居者の健康管理・職員のメンタル対策・職員の健康管理(ホテル宿泊等)
 - ②体調不良・県外往来等の職員に対してPCR検査等の対応・相談等をした。
 - ③新型コロナ発生時にまん延防止等を目的に事業所の営業を一時的に制限した。
・ショートステイの利用者受入れ50%制限(2月14日～3月3日) ・デイサービスの休業7日間
- (5)行政と連携 福井県：・社会福祉施設感染症対策チームに登録(1名) ・感染対策訪問指導の受入れ11月
福井市：・ワクチン接種 1回令和3年4月、2回5月、3回令和4年1月 ・感染者発生時の対応等。

2) 自然災害発生時における業務継続ガイドラインを作成し福井市に提出した。

4 生活支援部門

1. 地域包括ケアシステムを推進するために地域包括支援センター(略 包括)等と連携した。

- 1) 居宅 ・多重問題を抱えるケース(障害、困窮等)を包括と連携して、在宅生活の継続支援を行った。5件
- 2) 特養 ・中学校区(地域)により東足羽、麻生津地区の特養申込者を優先の対応を行った。(居宅等との連携)
- 3) デイ ・文殊地区全戸、包括、居宅等を訪問しチラシ配布した。 ・デイ便り発行(毎月)

2. ご利用者の尊厳を守る生活支援の質の向上。

- 1) 職員の人権感覚を高め、職員による高齢者虐待ゼロを継続した。
- 2) 生活に潤いを与え、心身の健康増進に取り組んだ。
 - (1)園芸療法 ・イチゴ、エンドウ豆等の苗植え、収穫等の体験を実施した。
・季節に応じたバラ園の整備、館内に観葉草花を置いた。胡蝶蘭等
 - (2)音楽療法 ・新型コロナ感染対策によりユニット単位でのミニ音楽会等を実施した。
 - (3)芸術鑑賞療法 ・入居者が製作した作品、活動の写真を廊下に展示し生活の張り合いを支援した。
 - (4)新鮮で安全な食材を使用 ・地域業者の食材を積極的に活用した。②サンマ焼、焼き芋会等を実施した。
- 3) 介護サービスの強化によるケアマネジメント(適切で効果的なケア)を推進した。
 - (1)認知症高齢者の自立支援 ・食事の楽しみ 9月上用饅頭 12月クリスマスケーキ・そば打ち 2月ふるさと献立等
・ユニット単位でのレクリエーション、体操、環境作り等に取り組んだ。(月単位の実施表をチェック)
 - (2)口腔ケアの向上 ・歯科医師が訪問(毎月)し介護職員等が指導を受けた。
 - (3)褥瘡発生ゼロ ・食事(栄養)、排泄、体位交換等を円滑に行えた。
 - (4)老朽化(16年目)による居室の修繕・空調機器の入替えを行った。・壁紙の修繕 ・居室エアコン入替

4. 役割人事制度(キャリアパス)と連動させて高い専門性を有する人材を育成した。

- 1) OJT研修(ユニットリーダー) ・指導職員(主任)が行う。 ・エルダー制により向上心の高い人材を育成した。
- 2) 内部研修 ・オンライン等を活用した。 ・資料配布して文書回答した。
- 3) 外部研修 ・オンライン研修等に参加した。 ・医療的ケア研修(かく痰吸引)等に参加した。

5. 家族との関係。

- 1) 懇談会の対応 ・家族宛に送る文書(月1回)に“ご意見”欄を設けた。返信等を6家族より受取る。
- 2) 家族へのお知らせ ・一筆便(写真、職員一言)を毎月送付した。・介護職員等から体調等を電話で説明した。

6. 地域福祉の推進に取り組んだ。

- 1) 日赤奉仕団文殊分団より古新聞の提供を受ける。(隔月)
- 3) コスモスロード、バラ園等の整備等を行い、地域の自然環境の向上に貢献した。
1コスモスの花を提供した(10月)。提供先:文殊こども園、文殊公民館、JA福井県文殊支店等
- 4) 介護職養成校(実習生)受入れ。計5名 介護福祉士1名、介護職員初任者研修3名、介護実務者研修1名